明治四十五年三月二十五日發行
每月一回二十五日發行

婦人新報

第百七十七號

明治四十五年三月廿五日

嗚呼！　希望を以て事に耐へ愛の爲めに勞を惜しまざる所の親愛なる同胞よ！

我等の要する所は資に非ず、愛に在り。精力に非ず、乾坤を貫くの大氣魄にあり。熱に非ず、白熱に在り。沸騰せる湯に非ず、蒸氣に在り。氣罐の湯が如何に沸騰するに近づくとも、蒸氣となりて彈力ある、見へ難き冒すべからざる、抗すべからざる力となる迄は、一寸も車を動かすこと能はじ。愛亦斯の如し。その神の如き焰は眞理の純粹なる白熱を以て詐の屑を燒き拂ふべし。我等は愛の外の凡てのものを有てども、唯だ愛を缺けり。莞爾として笑ひつゝ行く人はあれど、心の中は冷なること氷の如し。我等にして若し愛あらば、ロンドンの貧窟は明日を俟たずして消え失せん。あなうたてや、人生は焰の代りに灰を以て滿ち、世界は芳香しき花園の代りにサハラの沙漠なり。

（ウイラード嬢）

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十七號目次

◎社説

時間の經濟

クレゴリー氏を送る

◎教の庭

婦人と宗教　田島牧師

をり〳〵の所感　安井哲子

◎もしほ草

すぎこしかた　矢島楫子

ひさ〳〵にて故郷に歸りて　本多貞子

◎ホーム

美はしき家庭

◎はたらき

ヘーグに於ける矯風大會　ミス、デビス

大阪の廢娼運動　清水たれ

朝鮮旅行記　渡邊常子

◎消息

◎事務所建設に就て◎本部だより◎大阪支部◎神戸支部◎芝支部

◎静岡支部◎金澤支部◎堺支部◎山梨支部◎シヤトル婦人矯風會

◎婦人新報代金領收

社告

◎婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）金六錢

六部（前金）金三十五錢

十二部（前金）金七十錢

郵劵代用一割増

◎廣告料

一行（五號活字）金十錢

明治四十五年二月廿四日印刷

明治四十五年三月廿五日發行

發行兼印刷人　矢島楫

編輯人　高原孝

發行所　東京市麹町區上二番町卅三　矢島方　婦人新報社

編輯及事務所　麹町區上二番町卅三　矢島方

No. 177　　Ma ch. 1912

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

The Value of Time.

The Necesity of Christianity for Women......Mr. Tajima.

On Fedelity...... .... Miss. Yasui.

Reminiscence. ....Mrs. Yajima.

A Trip to Morioka................................. Mrs. Honda.

W. C. T. u. at Osaka.. ....Mr. Masutomi.

Of the Convention at Hague.... ....Miss R. F. Davis.

The Story of Pious Family.

The Story of Pity Family.

The Movements of W. C. T. U. at Osaka....Mrs. Shimizu.

The Movements ofi W. C. T. U. at Korea....Miss. Watanabe

W. C. T. U. News.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

c/o Mrs. Yajma, No. 33 Kaminibanchō Kojimachi, Tokyo.

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

登録商標

衣裳の薫

現代的衣裳保存唯一の香料

衣裳の薫

書畫古器物用防虫香

本舗 大阪 東京 東籬園

花かつら色めく春の櫻が枝に
かほる乙女の袖のうつり香

▲衣裳の薫○特に高貴なる香料をのみ選たれば高尚優雅なる芳香は左近の櫻橘の香よりも遥かに勝りたり、風長閑なる春のあした袂つらねての花見衣には衣裳の薫をかほらせ玉へかしとしか云ふ

○弊園は矯風會の主義を贊し微力をも不顧永久に同會の發達を諸姉と共に祈る者なり、希は微志を了し御求めの際は婦人新報社へ、關西の諸姉は大阪支部へ續々御注文を乞ふ!!!

正價表

衣裳の薫絹袋十ヶ入 金壹圓七拾錢
同 五ヶ入金八十五錢
衣裳の薫家庭用紙袋 十ヶ入金壹圓
同 五ヶ入金五十錢
防虫香 五十ヶ入 金壹圓二十錢
全國有名呉服店、小間物店、書畫骨董店に有り

東京市芝區葺手町拾五番地 飯田東籬園支店 本店大阪市北區源藏町四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人矯風會員諸姉は**廓清會**に**入會**されん事を希望す

（一）本會の目的　は男女間に貞潔の節操を進め、社會の風紀を廓清し、家庭の和樂、人生の幸福を増進するにあり。而して公娼制度は此目的に反するの悪制度なるが故に之が全廢を期す。

（二）入會の心得　右の趣意を賛成するものは、男女を問はず何人も入會することを得。入會希望者は住所、氏名、職業、年齢を記して本部又は支部に申込むべし。（賛助會員は口數を明記す）

（三）會員の特權　會員には本會機關雜誌「廓清」を毎號寄贈す。

（四）會員の種類　會員に二種あり、

（一）賛助會員　本會の維持費として毎月金二十五錢（一口）以上を出資するもの。

（二）正會員　毎月金五錢を納むるもの。

（五）會費の納入　會費は郵便爲替又は振替貯金（東京振替口座一九五三三番）にて本部へ拂込まれたし。但し郵便集金を以て集金する時は集金料金五錢を添加せられたし。

東京神田美土代町三ノ三
（電話本局一五六番）　**廓清會本部**

入會申込書

現住所　　　　職業

姓名　　　　年齢

貴會ノ主旨ニ賛成シ　會員トシテ入會申込候也

明治四十五年　月　日

廓清會御中

機關雜誌　廓清　第二巻第三號目次

◎廓清會とは何ぞや（三）　會説
◎グレゴリー氏を送る　同
◎留別の辭　グレゴリー
◎輿論の聲高まる　京都日出新聞
◎國民の品性　文學士　三輪田元道
◎雜誌の雜誌　朝野名流大家
◎社會縱觀　文學士　内ケ崎作三郎
◎風教時言　登富生
◎廓清餘錄　記者
◎廓清會紀要　記者

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京女醫學校組織變更生徒募集

今般文部大臣より専門學校の認可を得東京女子醫學専門學校と改稱し來る四月八日より新學年を開始す△入學志望者は四月五日迄に入學願書を提出す可し△入學資格高等女學校卒業△募集定員一百名
△規則要郵券三錢

私立 **東京女子醫學専門學校**

東京市牛込區市ケ谷河田町
（電話番町二〇一九番）

東京市牛込區河田町六番地

東京女醫學校附屬 **東京至誠病院**

電話番町二〇一九番

産婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 **吉岡彌生**

△院長診察 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

▲品行方正にして身體健全なる者

看護婦募集

東京神田區猿樂町一九番

大關看護婦會

電話本局 二二五二番

本月五日附を以て文部大臣より本校高等裁縫教員養成科卒業者は無試驗檢定にて中等教員たる許可を得

文部大臣認定

私立和洋裁縫女學校

東京市麴町區九段中坂上(電話番町一九〇七番)(通稱堀越女學校)

(教員養成科ハ文部省裁裁科檢定試驗を受る資格を得)

和洋裁縫各科生徒募集(四月一日より始業)申込み本月末日まで又高等教員養成科は無試驗入學を許す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●生徒募集

和洋裁縫教授

但個人教授に依り懇切に教授し且つ傍ら精神の修養を重んず

本郷區曙町十六番地いノ三號
（白山停車場脇）

安村女塾

看護婦并に見習生

募集

東京芝區葺手町五番地

渡邊看護婦會

會主 渡邊鎌子

電話芝壹三九三番

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京深川區西森下町四十七番地

電話本所一八五二番

產科 婦人科

荒木醫院

（入院應需）

院長 荒木宗吉

診察時間 午前八時より正午迄 午後往診とす

斜視

眼科

一般 特に 成形手術

（本院）牛込區市ヶ谷田町三の廿新見附外

（分院）府下中澁谷宮益坂下踏切角

入院應需

畑眼科醫院

電話番町一八六六

東京市麴町區一番町十四番地

聖母堂產院

隨時入室 姙娠分娩共に

懇切を主とし且つ廉價に

取扱ひ申上候

產婆 高水幸子

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報

第百七拾七號

時間の經濟

或る一人の子供が母に「明日とは何時の事であるか」と尋ねました。母は答へて「明日といふ其日になれば、又次の日を指して云ふ言葉で、決して明日と云ふ時を目の前に見る事は出來ません」と申したさうであります。此の話は珍らしくない話で、何人でも御記憶になつて居られませうが、光陰矢の如くにて時は斯樣に次から次へと逝き去るのでありまして、其故光陰の大切な事を考へて居られぬ方はありますまいが、さて、實際に時を貴とび、之を利用し、之を節約し、最も有効に之を用ゆる人は却つて少ないかと考へます。

タッタ一分の事で我が思ふ汽車に乗り後れた時の無念さ殘念さを記憶して始終これをすべての場合に應用いたし、賢く時間を使ひまするならば、人間の活動の上にどんなに影響を及ぼすことでありませう。

西洋の人は「時は金なり」と申して、非常に其價値を重んじ、小學兒童すら、登校前に或る方面の働をなし之を貯ふるとか、學資に充つる方法をとり、幼い時から時間の利用につき善い習慣を作り、家庭の人となりましても、家政、育兒に從事いたします外に他の働をもとり、社會事業に、又慈善事業にも夫人が係はつて居りますのは、時間を正確にいたして餘裕があるのでございませう。それで家が亂れるかと申せば決してそうでない。日曜には教會にも行き少しも家政上に闕はないと伺つて居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本と外國とは違ふからと申して、之が改良につとめませんなら、何時迄も時間の價値を知らない習慣を破る事は出來ますまい。客が來ると用談よりもまづ前に食物に心を配るといふ風習、主婦が外出するには、梳り、化粧等に半日を要すといふ古陋の風を矯正致しまして、此の貴き時間を讀書に或は社會のために婦人が捧げまするならば、本人のためにも、家庭のためにも將又子女のためにも、如何計り幸福でありませうそれと此と共に實行が出來ますれば、國のために餘程經濟で、且つ有爲の婦人が多くなるわけでございます。日本婦人化粧品の費高と海軍の費用と匹敵すると承りましたが、化粧品ですら莫大の金を要しますに、之に又化粧品を使用する時間を金に積りますなら、實に驚くべき金高に登る事でございませう。

先進國と歩を共にせんとする我國の婦人としては、廣く智能を啓發せねばならず、修養も致さねばなりません我々矯風會員は先づ率先して時間の價値を重んじ之を賢く利用致す樣に努めたいと考へます。(高)

グレゴリー先生を送る

萬國廢娼同盟會幹事モーリス、グレゴリー先生は、昨年十月八日、遙々英國より我國に來られ、我國の廢娼運動のために、非常なる援助を與へられましたが、愈々去る三月一日に東京を立つて御歸國になりました私共は先生の御功勞に對しては、何と感謝をしてよいやを知りません。殊に其の柔和で、謙遜で、親切で、而かも熱心なる先生の御人格と、御働き振りは廢娼運動に對する功勞以外、私共の信仰に、又品性に實に實に大なる感化を與へられました。且又仄かに承りますれば、先生の令夫人は重き病の床にあらるゝこと茲に半歲、身の起臥も自由ならずと、さる西洋婦人から承つて居りますに、凡ての事を右樣な犧牲にして日本に御出でになつて居るに、ツイゾ自分の口からそんな話をなさつた事すらもありませんでした。私共は如何に先生が神樣の忠實なる僕であらるゝかを今更の如く感嘆致さずに居られません。神樣よ先生を祝し玉へ。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

教の庭

婦人と宗教

田島牧師

△内助者として基督の力の必要

次はキリスト信者として、或は社界に、或は其團體の内に、或は教會の内に於て有力なる男子は、必ず其背後に信仰と道念の立派なる精神的の奥樣が付て居らるゝと云ふ事です。是の事は皆樣が御注意なされば能く御承知になる事であります。夫人内助の働が、思の外の感化影響を其良人に與へる事は、私が申上る迄も御座いません。信仰の深い愛心に富んだ夫人の良人は、必ず社會に於て犧牲献身的な立派な生涯を送られます之に反し、惡るい奥樣を持たるゝ男子は不幸なもので、何が不幸と申して、惡い奥樣を持ちし人程不幸な者は、世に餘り類がないと思ひ升。學生の時代や獨身の時代に、前途有望の青年と思はれます方が、結婚致しまして性格が善く變ればよいが、其反對に善くならないで、中途で無氣力な人間となる方が少くありませんが、その御方の背後には必ず斯くなさしむる不幸な奥樣がある事であり升。勿論一概には云へない、是の花の如くで若し不幸蟲が付けば、斯く立派に花咲く事は出來ないのである。其男子の性格或は道念に、人の知らない精神的の病が出來て、其爲に充分に發育する事が出來ない事も度々ありますから、私は斷言は致しません。然し品性の卑い信念の薄い、輕薄な妻君を持たるゝ男子は、天與の才能の半分は、其の奥樣の爲に害さるゝと云ふ事は、決して過言と思ひません。勿論例外があります、ソクラテイスやウエスレーなどは如何ですか

ソクラテイスの夫人が如何なる人であつたかと云ふと或る日夫人の心中何か不平があつて怒たと見え、ソク

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ラテイスが外出するのを待ち受け、屋根の上から水を打かけたさうです、水をかけられたソクラテイスは、別に怒りもしないで夫人に申さるゝ様、今日は天氣がよいのに急に雨が降て來たと云はれたさうである。さすがは世界の聖人と云はるゝ丈あります。我國は昔から地震、雷、火事、親爺と申す事がありますが、奧樣の雷はたまつた者ではない、夫れに夕立と來ては甚だ困つた者と思はれます。又ウエスレーは夫人が惡い人とは思ひませんが、夫婦の間がよくありませんで、常に別居をなされ、夫人の死んだ事は、死後四日目に旅行先で知たと云ふ事です、夫婦の間が如何なる有様でありしかゞ、是の一事で明白に示されて居ります。ウエスレーであるから其の忍耐が出來、又困難に打勝つ事が出來たのであります。普通の方なれば、夫人に壓倒せられ、其れにて六十年の饑饉の憂目を見る事と思ひます。ソクラテイスの如き聖人や、ウエスレーの樣な腐敗に腐敗を重ねた英國の人心を、其根底から改良した大宗教家は例外と致しまして、大低の男子は其夫人の如何により、如何樣にもなる者で御座い升。「國亂れて偉人を思ひ、家貧ふして良妻を思ふ。」

△信仰の及ぼす力の偉大なる事

キリスト教は其信仰により、愚に見ゆる人も之を賢くし、弱く力なく見ゆる人も之を強くする者である、之を恩と申します。私は上州に生れた者でありますが私の近所に三人の老婦人がありまして、其内の一人は未だ生存して居ります、三人とも熱心なキリスト信者にして三人共學問は餘り御座いません、然るに其精神の立派で物事の道理がよく解り、所謂地の鹽、世の光たる資格のある方々でした。それで一人の老婦人の長男は、初期の國會議員として、自由黨有數の財政通と稱せられ、又他の一人の老婦人の孫の一人は、有望なる牧師となつて居ります。又現に生て居る老婦人は、結婚當時は極めて貧乏であつたさうですが、現今では多額納税者の内筆頭から三番目に居られる樣に一代でなりました。先年國の教會から招聘せられ、話に行き

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ました時其家で宿をなされました、親しく昔物語りや、信仰實歷談を承はりまして、私は心より敬服致しました、斯る婦人は天性立派なる性格を御持になられたか知れませんが、キリストの懼くべき御力が斯る婦人の生命の中心になつて居る事も爭へない事であり升。キリスト教が婦人にどれ丈け大切であるか、何故に私共が、不肖を顧みませんで此の尊い教を皆樣に御傳へ申度く心掛けますかゞ能く御解りになると思ひます。

△家庭の圓滿とキリスト教の力

理論の事を申すより事實あります事を二三點申上げました方が却て益があると思ひますからそれを御話し致しませう。私は過日或る年のわかい婦人が、生れて二週間計の赤子を後に殘して永眠なされし御方の葬式に參りました、此の方の良人は金澤の高等學校の教授をなされて居ります、奧樣が御產をなさる以前金澤にある友人などは、生家の母を御招になる樣御勸になられたさうであります。然るに其夫人は之を斷られて其忠告に從はれませんでした、其理由は自分が嫁して此の家に來りし以上は、此の家の母こそ我が母である、世間普通の者が嫁しても尙は生家の母を慕ひ、反て良人の母を疎外するは誤れるの甚しき者であると申されました。斯る心掛でしたから其義理の母親も、眞に生みの娘子の樣に思はれたさうであります。今日我邦家庭に於て嫁と姑との關係の困難で、識者の心を痛ましむる事は、公然の秘密である、然るにキリストの御心を以て心とした二十歲の夫人が、其立派なる精神で、嫁として其模範を世に示された事を、私は心から感謝致す一人であります。

もう一つ實例を申上ます、數年前、或る有名な教育家の母上さんが亡くなられました、其御遺言で私が其葬式を司どりました、御丈夫の時分折々私が訪問致しますと、其老婦人は、リウマチスの爲め、御足が不自由でありながら、孫さんの守を致して居られた事が度度でありました。申さるゝ樣、私のよる年波の爲め、步行の充分出來ずして、家の手傳が思ふ樣に爲されな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い故に、子供の守をして、嫁の少しでも樂になる樣にと、始終嫁が〳〵と申されて居りました。其家庭が常に春の如き快感を來訪者に與へましたのは、慥に是の偉大なる老婦人の「嫁が嫁が」にある事を知りました。

▲東京洲崎遊廓の大火

昨春四日八日吉原の大火ありて將に一週年に垂んとする三月二十一日、又復洲崎遊廓は火を發し、折からの强風に煽られ見る〳〵うちに遊廓の三分の一を灰燼に歸し、廓内百五十戸廓外壹千戸は、紅蓮の舌に甜め盡されました。大阪の難波新地遊廓が燒けてまだ二月、殊に洲崎が海嘯に呑まれた慘狀もまだ私共の耳目に新なる處であるに、如斯絶えず遊廓が樣々な災厄を蒙るのは、そこに何等か意味がなくてはなりません。姉妹等よ、どうぞ祈りを以て神樣の御聲を聞きたいものであります。尙廓淸會では既に去二十四日の夜神田靑年會館で大演說會を開きました。

をり〳〵の所感

安井哲子

△節操の觀念乏しきシヤム婦人

シヤム國では智慧に於て婦人の賢いことは男子を超ゆといはれて居ります。左樣に利巧な所でありますが、情ない事には、節操といふものを少しも大切に思はないといふ國風であります。

日本に廓淸會などの起りましたのも、一方に節操のない人がある爲に始まつたわけでございませう。が、兎に角節操といふ問題は、餘程大切な問題であります。

シヤムに居りました時、私は子供を敎へて感じましたのは、どうも親子の間の情が美しくない事でありますが、節操を尊ばない心にはつまり親と云ふ感じが少ないのでございます。又兄弟は仲よくせなければならないと云ふ事を敎へましても、先生が云はれるからして漸くにさうするだけのことで、決して心から喜んで衷

食を共にするのではありません。私が預りました子供の内に家に歸る時に衣服を着更へまする。その衣物が姉と妹とは大へんに相違がありましても、姉は少しも妹にかまいません。もし之が日本の姉妹でありますなら、決して其儘には居りません。リボンでも何でも、すぐと無い方に與へます。私は實に日本人の兄弟の事を思ふて、幸福であると考へました。

△不節操の原因は家庭にあり

之は決して子供の罪ではありませんで即ち家庭が清くないからの事であります。節操を尊ばない國の婦人は、實に憐れであります。神の前に男女が結付くと云ふ事は、潔い事であつて、どんな事があつても互に見捨てない、富めるも、貧しきも、健なる時も、病める時も、共に喜び、共に苦しむといふのでありますが、神の前に結び付かない時は、どうしても心が動き易いのであります。玆に五萬の財産を持てる男子あり、他に千圓位の財産を持ち、才智を備へ尙尊むべき人格ある男子ありと假定致しまして、兩者孰れを撰ぶかと申しまするに、心の落付かない婦人は、必ず前者を撰ぶでありませう。裝飾品を付けた人を見ますと、すぐそれに心を動かされて、自分もその樣にあらうと思ふ樣な婦人が多く出來て參ると、社會はだん／＼眞面目を欠き、善くない結果を生み出す樣になりませう。之を見るにつけても節操の大事な事を感じますが、之は只學校の修身科で敎はつた許りでは、完全にはまゐりません。家庭の空氣からして改めて行かねばならぬと思ひます。

△柔和親切を尊ぶ

もう一つお願い申し度い事は、我々は周圍の人に對しても親切で、柔和でなければなりません。電車に乘らうと思ひまして五六臺も待つて後に乘りましても大變壓れ苦しむ時もあり、又下してと云つても不親切に停車しない時などは、實に情なく感じます。同じ職務に從事して居つても、柔和な、やさしい心から、人を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

喜ばせ度と云ふ事になります。それ故に人間は、周圍の人に對して、よく考へて多くの人に接する程親切にしなければなりません。ライオン齒磨の小林氏の傳を讀みますると卷を開けて閉づる迄、あの方の生涯の美しさに感じて、涙なしには居られません。讀み上げました時には、聖書を讀んだ樣な心持が致しました。あの樣な富裕な御身分でありながら、生活の質素な事には驚きます。同業者の住居だと云ふのを見ました時、小林さんと比較致しますと、大へんな違であります。それで慈善事業のためには、どれ丈御盡力になつたか分りません。彼の方の家庭は實に立派であります。若い奥さんの御言葉に、「私の家には金が多く有るのではありません、只自分達の生活を約めて神樣のために善い事をしたいと思ふて居ります」と申されました。

△敵を愛したる故小林氏

ある人がライオンはみがきの僞袋を拵へて賣りましたのが顯はれて監獄に入れられました時、その人の妻子の困難を氣の毒に思ふて、どうか救い度と思ふて居られたが、公にするわけに行かないので、陰德のある故小林氏は、密に人を頼みて内々其の妻子に毎日金を送つたさうであります。この事が後で解りました時、獄中の人が聞きまして、恩を以て仇に報いし小林氏に詫を致し、尚殘つて居つた齒磨の袋を不殘同氏に渡して、正しき道に入つたといふ美談があります。實に聖書を能く讀みて又行はれた方であります。

△愛の行を以て感化を及ぼせ

婦人の仕事は、理屈で人を導くのではなく、默つて極くやさしい、愛に充ちた人が、奇麗な行をして居ると、光線があたりを照す樣に、だん〳〵人を化する事がよいので理屈よりも實行の方が大切であります。男子は智にまさり意志が強い、母は愛の化身、父は意志の化身と申す通りで、婦人はやさしくあるべき筈であります。男子と均しく學問して政治上にまで力を及ぼす人もよろしい、然し其の上に愛を加へたいのであり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ます。婦人が多くの人を自分の處に引つけてだん〳〵感化して口で云ふ理屈によらない樣に致したいと望で居ります。あなた方は實にこの重任にあたるのであります。美しい主婦に使はるゝ女中、來る所の親類、皆婦人の力によつて潔風されるのでありますから、眞面目になつて盡力なさる時は、將來のために實に望があると存じます。

△私の信者になりし動機

私が信者になつたのは、決して不幸に苦んだ末に神を信じたわけではなく、餘り朋友からも親切を受け、人樣が私に與へて下さる程には出來ますまいが、自分も斯樣に人に親切にすることが出來たら、さぞ幸福であらうと考へまして、尤も幸福の時代に信者になりました。曾て英國のチエルタナンと云ふ一ツの村（代々木か千駄ケ谷の樣な土地）の閑靜な處に、紳士と淑女の學校がありまして、其處に暫時客分として泊つてすべての事を見せて頂きました。寄宿生で十七八歳の人人が監督者もなしに居るのでありますが、實に能く行屆いて、私は一人も知人はなし、自分の世話になつた先生から紹介された丈でありますのに、どの方も皆親切に代り〳〵勉強がすむと、知らない町を案內して吳れたり、夜學が終ると慰に來て下さつたり、實に其奇麗な無邪氣な、やさしい心に感心せずに居られませんでした。また寢る時間になりますと、不殘寢に就てすこしもぐづ〳〵しません、監督者もないのに斯樣に規則を守り、客をもてなす事に於て少しも世辭はなく、眞の親切を表して實に快ろく感じましたのは、この方方に、神を知ると云ふ信仰を持て居られたからであります。十七八才と申せば、自分の事ばかり考へる時代で、人の事には及ばない筈であるのに、この親切な心には私も感服致しました。若いと申して出來ない事はありません、美しい淸い感化を、あたりに及ぼして立派な生涯を御送りになる事を望みます。（文責記者）

すぎこしかた

矢島楫子

私の生れましたのは天保五年四月廿四日。肥後國上益城郡沼山津手長木山町木山川のほとりであります。父は矢島忠左衛門直明と申して、手長の目附役（手長一廓の主任者を視察する役）を致して其の時は四十二歳でありました。母は三村氏より嫁ぎつる子と申しました。私の四歳の時に父は足北郡湯の浦手長、御惣庄屋御代官兼代に轉任になりましたから、三十里餘の途を、二人宛駕籠に乘りまして移轉いたしました。この時は未だ四歳でありましたが、海邊山路の困難で心配致した事を記憶して居ります。當時父の權勢は非常なもので家族の者が外出致すときは、只今の巡査に當る人々が十人位護衛いたしたと覺えて居ります。兄はすでに青年となり、姉順子は竹崎氏に嫁しました。母の實家へは一年に一度宛必ず船で御機嫌伺に連れて行かれました。其の後父は下益城郡中山手長に同役として轉任になりまして茲に十五年程居りました。此處は私の成長地と申して宜しいのです。

只今の方ならば何々女學校と申される時代でありませうが私は月に一日と十五日に氏神に詣づるの外、何處へも出た事はありません。十歳になるまでは手習ばかり致し、十一二歳の時は、朝夕家事向に從事致し、晝の間は機を織り、夜は糸をのばして織る爲めの用意を致し、それが終りませんと、手習又は讀物にかゝる事は出來ませんでした。母は養蠶を熱心に飼育いたし娘等を相手に澤山の蠶を手掛けてをりました。

當時の家庭は私にとりての學校でありましたから、養蠶の手傳即ち桑摘も致し、蠶兒の床がへも致しました。其折斃れた蠶兒がありますと、私は之は取り去つて流した方がよろしい、このために他の蠶兒をも害す

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でせうと申した所が、母は之に反對いたし、何と申しましたか極く臭い草を刻みてふりかけますと、興奮劑になると見えて、活かへる樣に見えました。母はこの虫を人間の樣に取扱ひました、私は虫と思ふて取扱ひました。

いろはの書き方讀み方は、何時覺えましたかわかりません。劃字になると少しも分りませんけれど一度聞たら二度尋ぬる者でないと覺悟致して居りました故、覺える事は能く覺えたと思ひます。何が劃字を習つた動機となりましたかならば、德川氏時代の末に人間は奢侈をしては富まない、穀物を作る農夫が儉約をして恐慌の備をしなければならぬといふ命令が出ましたそれで米の濕りより虫が生じ、藁のために鼠が付くといふ事を防ぐため、貯い籾藏と申して、乾いた籾を直ぐと箱の中に入れると云ふ考へで木造の藏が出來ました。父の役目は只今の行政官、警察官、內務等すべてを兼ねて居り、人民に出來た事柄は皆自分で關はる樣な都合でありましたから、この大儉約の一着として百姓町人は、傘を禁せられ、木綿の着物の外は許されず、三味線、小唄は一切禁じられました。兄は理屈家でありまして「この家は人民を保護すべき役である、百姓の娛樂を禁ずる場合なれば、我が家族も娛樂として居る琴、三味線の稽古は止めた方がよろしい」と申出ますと、父も之に贊同致し同時に琴の稽古も止めました。その時母の申すには「子供に何か人並優れて敎へて見たいと思ふて遊藝を仕込ましたがこの際止るとならば何か漢學でも敎へては如何です」。それから兄が敎頭となり、大學、論語、孟子、中庸の順序でありますが、兄が大學、母は論語、父は孟子を擔當致し每日家を學校と致したわけであります。兄は敎へ始めますと熱心で、一日に孟子を習ひ終つた事があります。橫井氏に嫁した姉つせ子は丁度マルタの樣な性質で、母の手傳ばかりいたし、讀物には心を入れない、熊本に居ります妹さだ子は手藝がすきと申す次第で、大概一人で敎はつて、あとで受賣を致しました。

手習の事に就ては私は橫着で、母が手本を書いて下

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さいましたが、姉と妹と私と三人、行燈の傍に、文庫を机として筆をとりましたが、私は片手に筆を持ち、片手は懐に入れ、手本ばかり眺めて居り、母の書いた字の眞似を致さうとすると字が大きくばかりなつて仕方がない、父に清書を持て行くと、まあ／＼賞められた方で劃字の手本をもらつた事もありますが、どうして母の様に勢のある字が書けないかと云ふ事は永い間の疑問でありました。（この疑問は三十年の後に至つて解決しました、それは順を追ふて申し上ます）この手習を致すのも、糸を繰た後でなければ、出來ないのでありますが、この時なまけた代り、觀察力を學んだ事は、たしかであります。（以下次號文責記者）

▲女子教育家の叙勲

多年女子教育に從事して其功尠からざる三輪田眞佐子、棚橋絢子兩女史は、今回特旨を以て勳六等に叙せられ、寶冠章を授けらるゝ御沙汰あり、三月九日午前九時半文部省に於て、最も厳かなる式を以て、文部大臣より之を傳達せられました。

△三輪田眞佐子刀自
は夙に私塾を開いて女子育英の事に當り、慶應年間より今日に至る迄、公私の諸學校に職を奉ずる事前後四十七年其間一意專心教育に盡瘁したる事は誠に我國女子教育者の模範とするに足ることであります。

ひさ／＼に故郷に歸りて

本多貞子

生れは盛岡でございますが、二十年餘りも故郷に歸りませんで、今回急に用事が出來て、參つて見ますと實に其變化致した事に驚きます。私が十五歳の時と思ひます、初めて女子部の小學校が設けられました、先生と申しますれば、習字の先生ばかりで、數學の教師もないと云ふ有樣、それ故私は少しづゝ手傳を致して居りましたが、縣廳から命令を受けて只今のお茶の水の高等師範へ參る事になりました。

東京まで人力車にて十三日間を要したものでありますが、現今は二十時間かゝりません。實にありがたいと思ひます。休課の時、國へ歸つて、東京の言葉を用いますと、生意氣と云はれ、謗られ致しましたが、私は東京でさん／＼笑はれて直して來た言語であるから皆樣は何と仰せられても、正格な言葉を申しますと申した事もありましたが、只今では開けて師範學校女子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

部及び高等女學校も出來、小學校の生徒も、皆言葉に注意する樣になりました。歸京の前、高等女學校長に面會致しました時、校長は親しく教場から料理の部迄、一々說明して下され、終りに西洋料理の御馳走になりました。その時校長から承りました卓上談話。

「當時の生徒は、餘程勉强の必要な自覺し來り、衣服よりも勉强に重きを置き、父兄に向つても、出來る丈け勉强を續け度と、願ふ有樣ですから、この建物も狹く感ずる樣になりました。

遠足の時は全く東京と違ひます、大きな釜を運ばせ、生徒自身は、それ〴〵茶腕と箸を持て行き、その場にてとりたる非等を料理し、米を買ひて即座の辨當を食して樂しみます。

御承知の岩手山(南部の片富士と申して、一方は全く富士の樣に斜になつてきれいであります)に登りますときは、種々なる困難がありますが、互に弱を助けて步行を共にすると云ふ狀況で本業の後文通の中にも、岩手山にて困難であつた當時の樂しかつたと云ふ事を申して居ります。人間は樂みまする時よりも、むしろ困難をした時の方が、愉快であります、困難の場合に生徒の眞の性質が發揮されます」。

「東京と違い田舍はそれにふさはしい教育をしなければならないので、娛樂室もあり、運動器械も多くありますが、西洋の器械でなければならぬ樣に誤解して居る事をとり去り度く、又可成簡易のもので、身體の益になる遊びを致させ度と考へて居ります」

此の御話を聞きました時、何處の女學校でも斯ふ云ふ風に氣を付けましたなら、どんなに日本婦女子のためによろしからうと思ひました。私共婦風會員もやはりいろ〳〵の困難を凌いで參りますれば、爲にもなり、樂しみにもなります、私は右の話で益を得ました。

遊廓の事ですか、それは八幡町と申す所にございますが。自分の生立つ頃は立派な建物があると存じた事も覺えて居りますが、只今は自分の主義の眼で見る爲か又は實際衰へたのか、實にいやな、不潔な感が致しました。尤も教育の方が以前より盛になりました爲に遊廓は自然衰へたと申す事で、故郷のために祝すべき事と思ひました。(文責記者)

△棚橋絢子刀自

刀自は文久元年の初家塾教授を開始して以來、今日に至る迄凡そ五十年の久しき間、女子教育の業に力を注がれたる功は、實に顯著なるものありと申さればなりません。學習院教授としての下田歌子を除いては、女子教育者の叙勲は今回を以て嚆矢とするのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

覺え帳の中より

△大阪婦人矯風會の事ども

益富生

▲大阪大火の際に於ける大阪基督教徒諸氏の働き振は頗る目醒ましいものであつた。殊に救濟慰問と廢娼運動とを兩手にかけてやつた事は餘程賢こい事である。ルーテルが云つたやうに『右の手に林檎を持ち、左の手に棒を持つ』は子供の教育に最も必要な事であるが社會の教育も亦其の通りで、預言者の叱責と、キリスト、イエスの愛心とが伴はねばならない。此點に於て大阪矯風會の活動は殆んど遺憾なかつた。

▲救濟慰問隊の功果も頗る著しきものがあつた。慰問せられたる者は殆んど手を合せて拜まん計りに涙を流して喜んだ。或女は曰く『私達は今日迄耶蘇は憎い奴だと計り思つて居りましたに、斯樣に其人から御親切にして頂いては誠に相濟まぬやうに存じます。』或男は曰く『今日迄罪をないものと怨んで居て、ようマア罰が當らなんだ。』又或者は曰く『之から教會の前を通る時は素通りは致しません』云々。何は兎もあれ、今度の事は多大の好感化を未信徒の罹災者に對して與へたらしい。殊に其慰問者の婦人たりし事は、罹災者に對して少なからず、柔かな温かさを感せしめた。

▲慰問者の方でも又善い經驗であつた。慰問者の一人は曰く『此度の事に就て非常に感じましたことは今度の罹災者の中に何時もと變つて厚がましい事のなくなつた事でした。見舞を云つて慰問の金品を渡しましても「イヤ私達は僅かの厄難、お隣の方が非常に困つていらつしやいますから、どうぞお隣の方へ澤山差上げて下さいませ」といふやうなのが、大抵三軒に一軒はございました。』美しい話ではないか。

▲慰問者の一人たる緒方吉重刀自の如き大家の御老人が眞先に進んで、よく其慰問の使命を盡されたのは、若い婦人達に對し非常なる奬勵であつた。

▲又老刀自は流石に病院だけあつて、罹災者の中に病人でもあると、一々見舞つて、どうもお氣の毒で御座

いました、斯ういふ處にお出なさい、いつでもお藥はたゞであげますから』それから又余が其勢を稱へば『何ういたしまして訪問する身で訪問せらるゝ身でなかつた事は、どんなに有り難い事だか分りません』とばかり、只管に感謝の心に充ちて居らるゝ。

▲林歌子女史が博愛社の事業や婦人ホームの事業や、愛隣夜學校の事業で、隨分重い事業を有しながらも熱心に廢娼運動の爲めに盡力せられ、廓清會の爲に一心不亂に働き同會の事業の爲に資金を集むる事や會員を募集することに一生懸命に働かれる事は感謝すべき事である。殊に感服したのは、余も共に事を驅つて各委員を訪問し、一人二十人募集の事を是非共御實行を賴むと懇願するに對し、不思議な程何處でも嬉んで引受けられたには感謝餘りて驚いた。同女史が多年、神と人との爲に献身の働きをして居らるゝ勤勞に對する報ひでなくば、焉んぞ斯の如くなるを得んや、とひしひしと感じた次第である。

▲大阪の婦人矯風會は何かに就て突飛な事をやる。そしてその突飛な事が成功するから、不思議である。之は恐らく大阪七不思議の一つであらう。例へば今の婦人ホームを造る時などは、一文もないのに九千圓の地所を向ふ三ケ年に買受けの約束をした。處が明治三十七年五月廿六日に計畫を立てゝ、四十年五月廿六日の夜迄に丁度お金が出來た。そして、それは丁度滿三ケ年目であつて、キツパリと拂を濟ました。

▲然し之は到底普通の熱心で出來得べき事でない。矯風會の一員たる吉本女史の如きは命にも交へられないと大切にして置いたヴアイオリンを持參してその地代の幾部に捧げられた。

▲濱寺の石神八重子夫人を訪ねた時、色々の話から廓清會の爲に矢島先生が、自分の葬式金迄出して居られることを話したら、その矢島先生の熱心に對してといつて、早速拾圓を寄附された。僕は之が大阪矯風會氣質とでもいふのであらうかと思ふた。

今度本誌の編輯を少しく體裁をかへて見ましたが、如何でせうか。御批評を願ひます。(高)

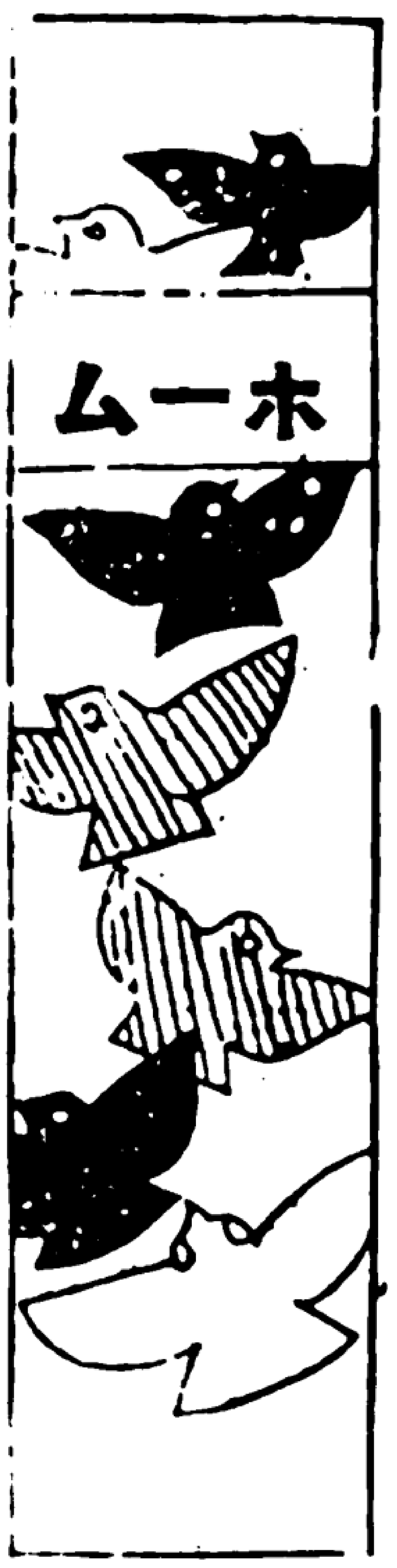
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

未成年者禁酒法案

例年の如く衆議院だけは通過致しましたが、貴族院に於て否決せられました。其に就て「東京朝日新聞」の記事を參考の爲めに轉載致します。

『根本君年來の主張たる未成年者禁酒法案は貴族院の贊成を見越して衆議院を通過せしが廿六日の貴族院にて福原文部次官先づ異議なしと述べ古賀警保局長亦同案制定後の取締勵行は至難の業に非ず政府は本案に贊成すと明言せり從來同案の成立を見ざるは主として實施の難きを見ての事なるに政府既に斯の如く言明し居る上は今度こそモノになるべし。』

『貴族院未成年者飲酒法案は六日午前開會先づ折田彥市氏は本案制定の上政府に於て果して實施し得るの見込ありやと質し古賀政府委員は勵行し得と答へ、久保田男は本案は年々歲々提出され而も其都度本院に於て否決となり來れるものにして當局は實施し得べしと云ふも果して之を勵行するの熱心ありや、又衷心本案に贊成し居るにやと急所を突込み古賀政府委員は如何にも當惑せる面持にて政府が若し衷心より贊成するものならば他の手を借る迄もなく政府案として提出すべきなり然るに斯くせざるは本案に同意はすれど實は、と語尾に餘韻を殘して苦しき答辯をなし更に文政の點より田所政府委員は本案の制定は教育上頗る肝要なるを以て若し內務當局に於て取締上成功ありとせば文部省としては勿論贊成なりと言ひ柳原伯は本法は到底實行覺束なかるべく若し然りとすれば幼者をして徒らに法を輕んぜしむるに至るの結果を生ずるを以て其主旨には贊するも實行不可能なる案には反對すと述べ次に久保田男は現時の社會は斯樣に强力なる方法を以て惡習を取締るに非ざれば到底家庭の訓示、教訓位では實行を奏するを得ずとすれば此上は法律により嚴重に取締るより他に妙策なしと信ずるを以て本案に贊成すとて原案維持を主張したるが結局德富猪一郎氏と久保田男の贊成のみにて本案は否決となりたり因に前議會には貴族院の委員會に於て可決し本會議にて否決となりたるものなり。(三月十七日)



美しき家庭

牛込拂方町の教會の或る長老の奥様が、十餘年の長い間御病氣で遂に永眠なさいました。御主人は或る會社の重役を務めて居られます。神の前に樂しき家庭を造られましたのは、十四五年前と承りましたが、春の花、秋の夕を愛で樂しまれましたのは、ほんの束の間の事で、一人の娘子を擧げられまするや、間も無く心地惡しく床に就かれ、須磨に、明石に、あるは鎌倉、茅ケ崎と、あちらに三とせ、こちらに四とせと始終御養生につとめて居られました。肉體は病の捕虜となられましても、信仰の點に於てはます／＼病と奮鬪せられ、不絕神に交り祈られ、姑に事へては孝に、御良人には妻として缺くる所なき迄に、いよ／＼精神修養の道をたどられました。重症になられました時は牧師の方に「御祈を／＼」と迫られ、御自身は天國に行かるゝ事を信じて、家族の方々に向ひ、今日迄永い間看護を受けし禮を述べられ「天國で祈つて居ります」と申され、實に平和に眠られたさうであります。

御主人は永い間の御病人を異心を以て看護致されました事は慥で、勤務は勿論教會に對しては忠實に其任を盡され十年一日の如く、いよ／＼堅固なる信仰を以て進まれて居ります。

御老母(姑)亦た類なき親切、温顏を以て夫人に接せられ、夫人に代りて家事を顧みるの暇、教會にも婦人會にも出席せられまして、能く其の責を果され、夫人が病床にて苦しみ給ひまする時は、其處に掛てある十字架を御覽なさいと申されました、斯くて御病人は非常の慰を得られたと申す事も伺ひました。

斯樣な待遇を與ふる人々に對して亦之を受くる丈の價値ある夫人であられた事は疑ありません。此の親にして此の子あり。此の夫にして此の良妻あり、この御家族こそ模範的家庭美談の一として價値ありと賞讃せ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

られぬ方はございません。

悲慘なる家庭
飮酒の結果

中島德藏氏談

埼玉縣に某といふ農夫が居て、三人の連れ子を持つた後妻を迎へ、其腹に二人の子供が出來て、夫婦七人暮しとなつた。然るに元來貧しい上に某は酒に耽り業を怠るといふ情け者であるために、妻は愛想をつかして、三人の連れ兒及び二人の幼兒を置き去りにして逃げて仕舞つた。そこで某は三人の連兒を奉公に出し殘つた足手纏ひの七歳の姉と四歳の弟とを非常に虐待する。特に、酒に醉ふて歸つた夜などは、殘虐極まる暴行を加ふるので、この憫れな兄弟は、父が、今夜は酒を呑んで歸るであらう、と思はれる時は、姉は弟の手をひき、裏の茶畑にいつて、二人抱き合ふて冷たき地上に寢るのであつた。人間生れて父あり母あり、しかも其の母には棄てられ、其の父からは虐待を受くる爲に、普通ならば、門邊にたつて歸宅を迎ふるが兒心であるのに、恐怖のあまりに膝下を避けて、寒き夜を茶畑に寢るなど、何といふ憫然のものであらう。斯くて、この殘酷なる父は、近隣からも忠告され、巡査からも說諭されたが、一向改心の樣子がない。その暴飮を恐るゝ二兒は、依然として殘酷の打擲を茶畑に逃るゝことが多かつた。然るに、一夜〃の可憐の兄弟は、今日も父が醉ふて歸ることであらうと考へて、例によつて茶畑に赴いたが、嚴冬の寒夜に、霜を凌ぐのすらなくて露宿するのであるから、その辛さはどの位であつたらうか、姉は携へ來たカンテラの火を唯一の助けと賴み、幼い弟と共に、抱き合ふて形ばかりの溫氣をとつてゐるうちに、誤つてそれを轉覆したものであらうか、火は忽ち二人の衣服に燃えうつツた。姉は、姉だけに早速もみ消して、僅の火傷ですんだが、四歳の弟は火焰につゝまれて煩へ苦しみ、誤つて水田へ陷つて、そのまゝ悲慘の最後を遂げてしまつた。ところが、此の夜は、某はたまく醉はずに歸家し、二兒の居ないのを訝しと思ひ、段々搜索すると、端なくこの現狀を認めて、流石に言句も出し得なかつたといふことである。(東京敎育所載)

文苑

我

安中花子

我といふ一人の中に樣々の
　あやしき性を見るがかなしき
この惑ひ二人の我に親しめる
　二重心の苦しきまどひ
しめやかに春の雨降る天地の
　情ひそませ春の雨降る
我が爲めに泣きくるゝ人住める世ぞ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

　なみだ流までほゝゑみてあれ
行く水の流れ絶えせぬむには
　花を宿して月を寫して
春の野に初めて咲きしつぼすみれ
　踏みて去りにし人をぞ恨む
友禪の袖十あまりうだけの夜
　ひいなの君のつゝましう笑む
女なればひいなの如もつゝましゝ
　わが世果てんを則と思へり
筆持つ手つかれし時に不圖思ひぬ
　斯くてこのまゝ死なんの願
我死なば歌のみ神のおん袖に
　とはのまな子と眠らせたまへ。

衛生

○濕疹の注意　生後一ケ年間位に多く見受けますが、之は胎毒だから癒さない方がよいと申して、打捨て置く方も多くあります。これは間違つた考へで、おできのために身體が衰弱して來ると、つまりは取り返しも付かなくなります。俗には、たむしの一種とも申しますが細かい痒い腫物で、夜は子供が眠れない程痒がる、母親は奇麗にして早く癒さうと思ひ、湯に入れますとだん〳〵殖へて參り始末が付かなくなつて參ります。始め、この様な腫物と見たら、風に當てないやうに、**繃帶をする事が**大事であります、醫師にかゝつて膏藥を附けても繃帶を外すと早くは癒りません。湯に入れてはいけません。なるたけ、痂皮の出來ない様にし、出來たら油を附けて取つて藥をつけませんと少しも藥はきかないのださうです。

○口内の清潔　食事毎に口内を微温湯にて含嗽するときは、多少胃の疾ある方でも自然に快くなり、また人に對し談話を致すにも臭氣も去り齦を缺くの恐れも減じます。乳兒にても口内を不潔に致せば、乳汁の分解に依り鵞口瘡と云ふ病を起します。

料理

（四）とろゝの酢物

鯛、比目魚、さわら等の輕き魚類を三枚にでもブラッシ様のものにて充分砂を除きたる板昆布にて三十分乃至一時間位卷き置く、是れで昆布の味と鹽氣をとる、山芋、つくね芋等をすりおろし、酢一合味淋三勺、食鹽茶匙一パイ、白砂糖茶匙一パイを入れたるものを沸煮し冷却したる時この中に板昆布に卷きたる魚を程よく細切になし三十分程浸し器物に取り上げ、うどと三葉を取合せ魚を浸したる酢にて薄くならざる様とろゝをとき此上に盛り、淺草海苔を振り掛け、山葵をあしらひ出す。食す時は能く攪雜す可し。若し鹽甘き時は必ず鹽のみを入る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

可し。

（五）吸物の下汁

吸物の下汁は、だしの入れ樣にて非常に其味が異ひます。一般に用ひらるゝだしは鰹節、昆布及び味の素等で御座います。然してやはり鰹節が多く使用され又た味も宜ろしき樣思ひます。處で鰹節を使ふ吸物の汁は最初よき程の水を入れ、此れがブツ〳〵音を立て水泡が上る時を以て一と處に入れず、振りかける樣に入れます。こうすると、だしが底に落ちす五分間位で充分だしが出ます。此の方法は煮沸して入れるよりは鰹節も少量にてすみ味も亦た宜ろしう御座います、此の時蓋は箸の樣なものを渡し蓋が裏につかぬ樣に致します。

（六）糠味噌の作方

糠味噌の作り方は人々の最も苦心する處です、種々な方法もある樣に伺ひました。然し次の樣な方法も良い結果を得ましたからためしに書いて見ました。

糠三升を狐色に炒り新聞紙に入れてさまし、外に鹽五合水一升に蕃椒一つかみを入れ煮沸し、冷したる後、前の糠に芥子一合、晒糠五百目を入れ能くこれ合せ一晝夜置き大根、人參、蕪、キヤベツを入れると誠に味が宜ろしう御座います、又た毎朝味噌汁に用ふる味噌糠等を入れると味が仲々宜しくなります。

（七）筍の葛粉煮

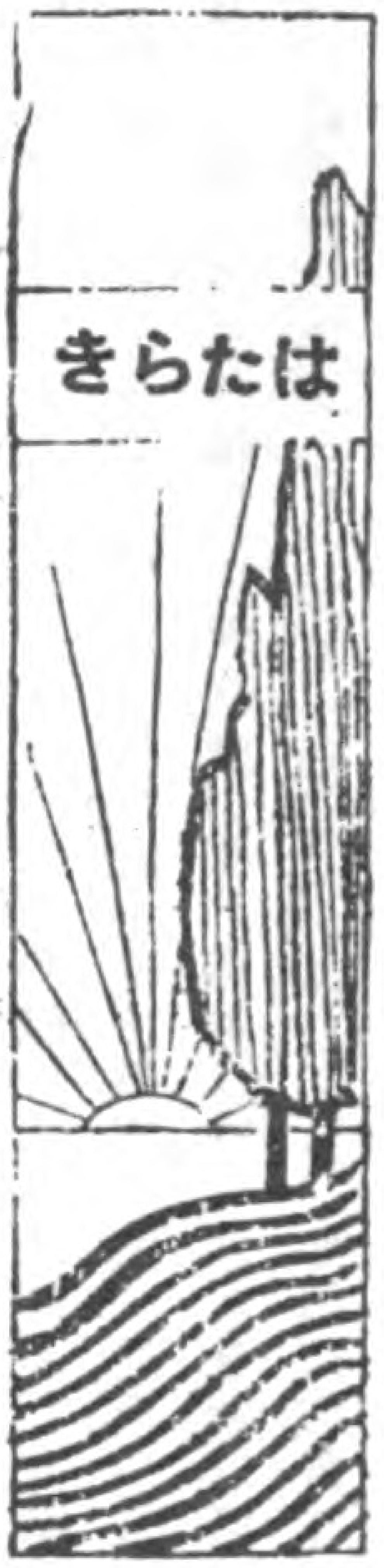
何れの筍を問はず根本の硬き部分を截り去り、赤頭の方も少くきり除きまして、縱に庖刀にて截り、目を裏表に入れその截れめに拇指を入れて皮をむきましたらよく水洗をいたして適宜の大さに截り、釜又は鍋に入れて暫く煤で軟かにゆだりましたら目笊にあげ手早く水を注けて米糠を流し、水氣をよくきつて爼上にのせ、一寸ほどづゝに截り又も鍋に入れ、酒三分と清水三分に砂糖少し加へ、程よく醤油に入れて中火にかけ、やはり小蓋を入れて暫く煮込みます一沸騰いたしましたら味の加減を試み、更に三四回ほど沸騰させて煮汁が煮詰つたら筍ばかりを引上げ殘分の煮汁をよく煮减め水溶きの葛粉が煮へましたら筍を入れ一寸かき廻して鍋を下し、皿に盛り分けて粉山椒をふりかけて供します。

○サーモンローフ（六人分）

一罐詰のしやけ　一かん
一ぱん粉　一かんより少量、
　又はビスケットをくづして
一玉ねぎ　一、細かに切る
一鹽、バタ　少し
一玉子　一個

右を混ぜて一と塊りと致して壜に入れて三十分間焼き、切りて出す。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



ヘーグに於ける矯風大會

ミス、デビス

禁酒會、矯風會の愛する方々が、私を歡迎して下さる事を有がたく御禮申上ます。私は歐洲に參りまして諸所を見物すると云ふ考へよりも、一日も早く日本に歸り度いと思ひました。滿洲通過の際奉天の警官を見たとき、默つて居られませんで「御早う」と云ひまして、兎に角日本語を使ふて嬉しく思ひました。今日は互に親睦して主義の擴張を計ることが必要でありますが永く御話しては却て害になります。

ヘーグに開かれた會議は、和蘭の女王が進んで開かれた會でありまして、會議に集つた方々は、最近化學の研究を致し、矯風の立場からミルクホール、コーヒー、酒店等に就て研究した論議を五月間いたしましたが、大へん盛なものでありました。此の會議の間に、判事の實驗談がありました。

セント、ルイスの判事は申します「犯人に對して、禁酒を實行すれば、刑の執行を猶豫する事にして、十ケ年試みた處、百人中九十五人迄成功致した。罪を與ふるよりも、善い事を勸めるのでありまして、主人が禁錮さるれば妻子が困り、事業も差支へると云ふ理由に原づいて右の通りに致したのである」この議論は英國でも議會に上せたさうであります。それから千三百人の禁酒の會議がありました。百人は天主教の僧侶でありましたが、禁酒に趣味をもち、天主教の學校に於て、化學的に禁酒の主義を鼓吹しやうと申しました。北の島から來た、パトル先生も、禁酒に人を導いて成功した話をされました時、日本にも安藤先生や他の皆樣が、禁酒會で働いて居られます事を思ひました。

私が千何百人の前に立ちまして日本を代表しました事は非常の光榮でありました。日本からと申した爲め

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同情が多かつたと思ひます。また日本は五十年間に偉大なる發展を致した事は知つて居りましても、矯風會、廓清會、禁酒會が斯樣に成功しつゝある事を話しました時、會集の者は驚いた樣子でありました。

只今は保存といふ事が大切で、魚類、樹木、農産物も保存せねばなりません。この時代にとりまして、將來を慮る事は必要でありますが、尤も大切なる財源は何であるかと申せば、少年少女、青年男女の保護であらねばなりません。どうぞ今年は、禁酒會でも矯風會でも、尤も收穫の多い年で、彼等の保護に於て成功致し度いものであります。（歡迎會に於ける談話の大要）

洲崎遊廓燒跡に就て

救世軍本營　山室軍平

吉原が燒け難波新地が燒け、今度は又洲崎遊廓の半分足らずが燒たなどといふのは、何んだか意味のありさうな事の樣に考へられる。吉原は當局で斷然たる處置をなし兼ねた爲め、事實上略ぼ再興の運に立至つた。併しながら難波新地に就ては大阪府知事の英斷に由て之が全滅に終つたのは、近來の快事である。然らば此度の洲崎遊廓は如何に處置すべきかといふに、それは唯燒跡に貸座敷の再興を禁止するより外に途はないのである。

今の日本の公娼が國民の風俗を壞り、健康を害し家庭の幸福を奪り實業の進步を害する非常の惡制度たる事は、今更言ふを待たざる所にて、殊に最も不都合なるは其所謂前借金の名目の下に人身の賣買を公行し、自分では醜業を營む心もなき婦女子を金で束縛して、否應なしに醜業に從事せしめて居る一事である。斯ういふ馬鹿らしき古今無類の醜惡なる奴隷制度がいつ迄明治の昭代に行はれるのを許して置く事が出來よう。今は日本國民が目さめて此無殘なる奴隷の解放を斷行すべきの時である。とは云へ若し當局者が未だ一と思に全國に亘つての公娼廢止を斷行し兼ねるとならば、せめては折のある度每、一つでも半分でも、そばから遊廓を廢止して行くのは、最も然るべき事であると思ふ。私は此意味からして、此度の洲崎の火事に際し、警視總監が斷然其燒跡に遊廓を再興させない樣其營業權を取り上げられん事を切望に堪へぬものである。既に數ケ月前大阪府知事の英斷の如き立派な先例もあること故此際東京でせめて此れ位の處置を試みる位は、一向六かしい事ではない筈と信ずる。（時事新報）

洲崎遊廓問題 廓清會演說會

廓清會にては去る二十四日午後七時より神田美土代町青年館に於て洲崎問題に就き大演說會を催し、山室軍平氏を始め、益富政助氏、内ケ崎作三郎氏、宮田脩氏、山田彌十郎氏、島田三郎氏の熱心なる雄辯演說あり頗る盛會にて聽衆堂に滿ちたり。

大阪南區大火に付救護慰問并に廢娼運動

△會の日記を其儘通信に換へます

書記 清水たね

十六日 午前一時南區難波新地より出火、阪町千日前高津生玉に延燒す。中に難波新地乙部遊廓全燒したれば、天の靈火社會の不潔なる場所を淸めたまふ事とて吾等の使命再も降りしか如く思ひ、林會長外一名同伴早速南區役所に市長を訪問し、又南警察署長に慰問をなす。

十七日 青年會館に於て各敎會牧師其他委員數名集り、相談會を開く、議案左の如し。

一、基督敎信徒として北區大火の先例に倣ひ、罹災民慰問救助すべき可否及び方法。

一、難波新地乙部遊廓全燒につき同地に再建築反對運動の件。

種々評議の上、前件は委員數名を撰擇し市と交渉し、共に慰問救濟の方法を講ずる事。但し今回は市に救助金剩餘あれば特に此際義捐金を募集せず。後の件は專ら婦風會の働きに屬する問題なれば此際廓淸會本部に通じ同會支部を設け、極力一致運動せん事。

右可決す、直ちに本部へ打電し應援を求む。

午後林會長役員等燒跡を視察し島の內救護所を慰問す、又第一救護所日本橋第一高等小學校に罹災民救助の實況を見、淸水姉吉向下寺町源聖寺の救護所に赴く。林會長及び佐島委員等は今夕八時梅田驛に山室氏と出逢ひ運動の方法を相談せらる。

△公會演說會

一月廿日 夕七時より中之島公會堂に於て催す。

本部より矢島會長及守屋東子、萬國廢娼會幹事グレブリー氏、救世軍大佐山室軍平氏等來阪せられ、當地加藤氏、湯淺氏、小泉氏、名出氏、石橋氏等交代各々雄辯を振ひ、社會の風紀、敎育衛生等より公娼制度の非を論じ、且つ燒跡遊廓廢止論を唱へ、三千に餘る聽衆拍手喝采して同情を表す。閉會に先ち廓淸なるものを說明して、會員の入會を勸告せしに、當夜直ちに百

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十名の記名者を得たり。

廿一日　安息日、午後三時青年會に於て廓清支部設置相談會を開き、グレゴリー氏を訪問し、益富氏を招き再び公會演說會を開く事に決す。今回の運動資金を要する故各教會有志者より寄附金を募集す。

△罹災者慰問

廿二日　朝八時半より、南區役所へ出張す。是より先き委員長佐島氏の指揮により數十名の姉妹兄弟等各教會より集り、過る廿日より當所に來り已に二回の訪問の勞を取られたりといふ。本日より受持區域の場所に於て市の徽章を付けたる吾等男女、各々持場の罹災者慰問、且凡ての事柄を調査し、カードへ記入して四時區役所へ報告に歸る。

各教會より數名つゝ或は交代して凡そ一週間從事し聊か市の手傳義務を果す。

△再び公會演說會

廿七日　夕七時土佐堀青年會館に於て開催す。難波新地遊廓再築反對及廓清會支部發會式。

同會林歌子開會の主意を述べられ、左の辯士より交る／＼適切痛快なる演說ありたり。

緒方病院長ドクトル　緒方銈次郎君

天滿教會牧師　長田時行君

英國領事　グレゴリー君

廓清會理事　益富政助君

前衆議院議員　江原素六君

加藤直士君廓清會發會組織につき決議文を朗讀し、委員貳拾名を指名發表す。

大隈伯爵より祝電あり、司會者島田會長の祝辭朗讀せらる。當夜公會堂差支の爲場所狹かりしも聽衆六百餘入會記名者數十名あり。廓清雜誌賣捌金拾二圓七十錢ありしをみても盛會なりしを感謝す。尙今回の運動に付き委しく知らんと思ふ人は「廓清」雜誌に就て見らるべし。

矢島楫子

荷を負ひて日毎に歩む旅人よ
正路たどらば踏は迷はじ

朝鮮旅行記

△朝鮮に於ける矯風會運動

神戸　渡邊常子

昨秋十月廿三日、デビス孃の代理杉本鉞子姉より突然信書來り、急ぎ開き視れば在獨萬國婦人矯風會日本特派員デビス孃より同月廿日迄に朝鮮に到着の豫定なる故小妹にも速に來援せよとの飛報なりき。同じ夏京都大會にて渡鮮談ありしも其後程なくデビス孃は和蘭ヘーグ禁酒大會議に臨れ小妹は婦人傳道會總會前後の用務に忙殺せられ、且は偶東京擴張應援の話もありたれば東せんか西せんか暫時は決し得ざりき。

斯くて朝鮮へは傳道會を代表して去る明治四拾年十一月末方より翌四拾一年四月末迄滿五ケ月間京城に出張せし事あり、今般渡鮮せば第二回なるにより多少働きに便宜あらんか、なれど老父、兄弟等は餘りに大急なると向寒の季節なるとの故をもて西行には不同意なれば、東行せんや、然れどデビス姉を無援の狀態に陷入るゝの恐あれば竊かに忍びざる心地せられ、遂に意を決して廿四日の朝、矯風會役員會を開き、次いで同日午後上阪して宮川姉其他傳道會の役員に相謀りしが、準備上の都合などありて確定に到らず、越えて

廿七日（金曜日）　祈禱會の席上之がために特に祈り、終に渡鮮の事の聖旨なるを確信するに到りたれば、愈同月卅一日傳道會及び矯風會の使命を帶びて西下する事となりぬ。發途の前三十日には大阪より見送の爲めとて妹來れり。

十月卅一日　午前七時半、寺島、原兩姉及老父に見送られ、下關急行列車に乘じ神戸を出立す、中等室内は滿員にて殆んど間隙なく、辛うじて座を人と人の間に乞ひ得たり。下關迄驛を過ぐる每に、其驛々の知人舊友を思出でられて消息を問ふ心地せり。同夜九時頃下關に着せしが、今夜生憎警報の掲示ありて天候惡し海上風波烈しと人々噂し合へる中に、年若き婦人の顏蒼ざめたるを見うけ、哀れに感ぜられたり。扨天候は不安なれど心せかるれば、連絡の壹岐丸に乘り込み其夜十時頃下關を解纜せり、長程の汽車に疲勞を生じ十一時とおぼしき頃寢につく。

十一月一日　午前五時過る頃、ボーイ洗面の準備を告げ來たれば、遂に之に赴かんとしたれど、船の動搖甚だしくして意の如くならず、遂に朝飯を廢し横臥のまゝ入港を待つ、斯くて七時頃釜山に安着し京城行發車の時間を問ひしに約二時間ありと聞き、乃ち車を走らせて長谷場政子姉の宅を訪問す、幸に主人の君愛子令孃居合せて面會の機を得しを互ひに喜びたりしが、頓て別を告げて停車場に車をかへし凡そ十時に釜山を發車し、大邱迄約廿八里間は神戸より道伴の人ありて、時々話を交へしも、大邱より京城迄六十里間は誰語らふ者もなく、人はあれど無きが如し。時に書を繙けど車中は眠疲れ易くして空しく禿山、矮屋の過るを見る、田野を眺むれば白菜は半ば收穫せられ稻禾は僅かに刈り殘され、鮮人の之を刈取りて、瘦馬に背負はせ徑路を往くなど目に映ずる物異樣ならぬはなし當日は恰も吾大和民族の等しく祝ひ、大穣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

威を畏み奉る天長節の二日前なりければ、二三の驛にて無數の鮮魚貨車に積込まるが爲に、平日よりは四五十分間も時刻遲延し漸く夜の九時過る頃、南門驛に着しぬ。下關より稲永姉に電報せしが、名前を記入せざりしより或は他の人ならんやなど思ひつゝ來れりとて、稲永、織居、井出、西村等の諸姉出迎へせられたり。先年の緣故あればとにかく今夜はと誘はるゝまゝ、織居姉の宅に伴はれ行きたるが、厚き情に引止められ、京城滯留中同家の客となりたり。

同二日　普救女館に米國女醫カトラル孃を訪問し、デビス孃の事を尋ねたるに未だ到着にならざりき。カ氏と暫時の談話中、同氏が過去廿八年間犠牲となりて病人救濟の爲に、盡瘁せられし苦心の物語等を聞て、益を得ると多かりき。此夜稲永姉と共に岩佐姉宅の組會に出席して勸話せり、來會者拾數名也きデビス孃當夜無事に來着せられたり。

同三日　天氣快晴午前、西大門外、丹羽氏宅を訪問す、今日は天長節の祝日なれば、各商店は休業して戸毎に旭旗をかゝげ、菊花もて裝飾を施せり、新同胞の子供も衣を更め樂しげに路傍にて遊戲し、或は高く、紙鳶を飛ばする等を見て嬉しさ溢れたり。午後數名の姉妹訪問の筈なりしも、總督の宴會にて不在多しと聞きたれば、夕方迄丹羽北澤の兩姉と快談をなし、夜に及びて京城教會の祈禱會に出席す、一致てふ題にて互に感話し、吾皇室及び國家のために祈る。

同四日　午前十一時過、南大門を發して仁川に向ふ此道程廿七里なり。仁川と釜山と元山とは朝鮮の三大要港にして首都京城を控へて西海岸に於ける通商貿易の中心點たる恰も吾横濱に似たり。前には月尾島横はり、後ろには山あり、各國公園の外に日本公園あり、南は海に面し、樹木生ひ茂りて、仁川第一の眺望を占む。濱口氏の案內にて市街を見物し、且つ前田千代子姉を訪問す、同夜濱口氏宅の集會にて勸話せり來會者拾四名なりき。

同五日（日曜日）　高等女學校教師光石氏宅にて集會あり、出席して勸話す、來會者は拾三名、次に小野久子姉宅を訪問す。午後四時廿五分數名の兄姉に見送られて仁川を出立し、六時半頃京城に歸省し、京城教會夕説教會に出席せり。

同六日　午前、デビス姉に面會し、次で稲永姉と共に渡瀨牧師の宅を訪問す、同家族は昨夜此地に安着せられたるなり。午後デビス姉と連れ立て、青年會新聞社及び姉妹數家を訪問せり。

同七日　デビス姉と共に藤岡牧師の宅並に淑明女學校總督府病院等を訪問す。

同八日　午前、培材學堂教師申興雨氏の訪問あり、午後は稲永姉及び數名の姉妹訪問せらる。同夜原島氏宅の組會に出席して勸話す、來會者拾三四名。

同九日　午後二時より、各教會の代表者姉妹と共に大和町なる青年會に集りデビス孃滯留中の運動に關し協議會を開く、來會者拾三四名。

同十日　梨花學堂及び培材學堂を訪問す、同夜美以教會にて禁酒演說會あり、細井、原島、デビス孃等、諸兄姉の有益なる實驗談ありて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聽者は多大の感動を與へられたり。

同十一日　午後四時より、總督府病院にて同院看護婦のため講話を開く、デビス姉は彼の有名なるクリミヤの天女、ナイチンゲルの事業に就き、小妹は愛國婦人矯風會の起原及事業に關して語る、當日デビス姉の通譯は小妹なりき。以後各地にて通譯の勞を親くとり姉を援助せり。

同十二日　午前九時、京城教會の日曜學校生徒の爲めに訓話をなし次で禮拜に出席す、渡瀨牧師の說教ありき。午後四時より森氏宅にて翁見會の饗應を受け、同夜教會の說教會に出席す。

同十三日　午前は福永姉と共に信徒の宅を訪問し、午後は武川姉宅に催されたる神戸女學院同窓會に出席す。札幌の原久子姉も令妹の病氣の爲め來り居られ、相會せし者共に六名、互に舊情を溫め、胸襟を開きて語り合ひ、二昔の事ども追想して感慨轉た深かりき。又各自の愛する讃美歌をえり出し、共に歌ひ且祈り、祈りては語り、興の盡くるを知らず、日沒に及び各相別る。小妹は此夜當家に宿れり。

同十四日　午後二時より、京城教會にて婦人會の開催あり、司會者は原島姉にして、小妹は「婦人と家庭」てふ題にて語れり、來會者は四拾名餘なりき。

同十五日　山梨英和女學校同窓會員、三井冬治姉及び松島姉と共に會し、三井姉の厚意によりて食膳を饗せられ卓を圍みて甲府の昔日を語り偲べり。夕方に至り齋藤むら子宅を訪問す、此夜は三井姉宅に宿る。

同十六日　午後一時より、壽町なる商業會議所にて矯風演說會あり、デビス姉は「教育的禁酒事業」と云ふ題にて、小妹は「婦人と矯風」てふ題にて語る、來會者凡そ五拾名。

同十七日　午前、デビス孃と共に總督府を訪問す、寺内總督不在なるを以て、山縣政務總監に面會し、府にて近來惡風の改善に努力せられ、頗る效果の舉りし事を耳にしたれば、特に之に對して謝辭を述ぶ。總監の許を去て數名の姉妹を訪問し、而る後デビス姉と相別れ、南大門外セバレンス病院看護婦フオサイト姉の招待により、同院に到りて晝飯を喫し、食後完備せる各病院を參觀す、同夜京城教會祈禱會に出席せり。

同十八日　午後、藤田總督府院長の紹介によりて、昌德宮及び秘苑拜觀の許可を得、同醫員吉本藥學士并に一鮮人案內にて、デビス、古本、織居、諸姉と連れ立ちて之を拜觀せり。

同十九日　京城教會の朝と夕との禮拜に出席す、同夜說教會の後、渡瀨牧師及び小妹の爲めに歡迎會を催されたり。

同二十日　有志姉妹の厚意にてデビス姉と小妹との爲に慰勞の宴をた青年會館に設けられたれば、之に出席し、賓主相共に樂しく會食し、懇談後京城婦人矯風會支部設立の事を協議し、デビス姉と小妹とにて役員を指名し、會長の確定までは副會長、書記、會計にて執務あらんことを乞ひ、定めて散會す、當日の出席者は、丹羽氏、岡崎、齋藤、織居、原島、岩佐、井手、渦澤、三井、武川、松岡、原、デビス、渡邊の諸兄姉なりき。因に云ふ控訴院長渡邊夫人不在中なれば確定し能はざれど、其歸宅の上は同姉が會長の任に當られんことを滿場一致を以て可決せり。（未完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

消　息

●事務所建設に就て

本部書記

昨夏大會の節、京都、大阪、神戸、三支部よりの御發議にて、今年の第二十回大會を期し、本部に事務所設立の實を擧げしめんとの御好意を以て頻りに御盡力被下候事は夙に感謝致し居候、殊にデビス孃の御兩親も日本の本部に事務所なきを遺憾とせられ、幾分の補助を致され度旨申越され候故、本部に於ても此の好時期を失せざる樣と既に懇談數回に及び候。結果は未だ發表致し得ず候へども、近き内には上よりの補助により各支部諸姉の熱誠に對し實行の曉を見るに到り候事を希望致し居候。玆に本部を代表して感謝の意を表し候。

●本部たより

三月十一日(月)午後三時半より、會頭室に於て、常置員會を催す。出席員は、矢島、井深、小崎、島田、阿部、ミス、デビス、ミセスライシヤー、杉本、高原の諸姉。會頭祈禱の許に開會左の件を議す。

一、大會々場は、麻布鳥居坂、東洋英和女學校を拜借する事に交渉行屆たり。

一、大會費用は東京在住の內外矯風會員にて負擔する事之を支部に分擔すれば左の如し。

一、西洋人五十圓。麴町支部百圓。芝支部五十圓。麻布支部拾圓。城北支部五十圓。赤坂支部三十圓の豫定なり。

一、慈愛館の主任マコーレー氏の後任者ミス、ペンロット姉を歡迎するため、五月中に日を撰みて可成多くの姉妹に御來會を願ひ、慈愛館を見て頂く事。之に就ての委員は慈愛館の委員に願ふ事。

一、外國本部より軍人課ミセス、サツチヤー、日本へ御漫遊の爲め、五月十日より十三日迄東京に御滯在の由申來りたれば、歡迎委員として、井深、宮永、根本の三姉の外ミス、デビスを委員長に、尙ほスペンサー姉外一名都合六人を撰定し、五月十二日を以て三田フレンド女學校、ポールス氏方に歡迎をなす事。尙同氏の通過せらるゝ各支部に於て、歡迎を致す樣書記より通信する事。

右の後主の祈を以て五時半閉會せり。

役員の消息左の如し

○本多貞子姉　御良人と長崎に旅行せられたるが御良人は二十六日長崎にて昇天せらる泪悼に堪へませぬ。

○福田とし子姉　御入院中漸次快方に向はる

○清水ふき子姉　脊髓の御疾患ある由。

●大阪支部

▲第九回婦人ホーム敎入會　一月廿七日午前十時より、川口六番ミスプール氏宅に於て開かる。新年の事とて皆々指折數へ待にまちつゝありしけふなれば、ホーム出身の娘たちは各々主家に一日の暇を貰ひ集ひ來りしもの丁度百名なりき。午前は讃美歌を唱し祈禱の後恰もよし昨夜來阪せられし宮先生に談話を願ひしが、一同に向ひ親切に有益なる奬勵を與へられたり。次に名出牧師は各主家に勤むるものゝ心得上、將來の大切なる訓諭的講話を面白く愉快に話され、尙二年三年の勤續成績よきものに賞品を與へ、二三の特別模範女中を紹介して相互の奬勵を促し、一同へ赤飯と美はしき家庭料理菓子など饗應あり午後は互に睦まじく、或は語り或は心の儘に遊ぶ、三時一同撮影をなして袂を分ち各々主家をさして歸る。

▲故ウ井ラード孃紀念日感謝會　二月十七日夜七時より、土佐堀靑年會館に於て開かる。當夜は今回の一同願たりし難波新地遊廓廢止につき火災當日より種々運動防禦の結果、其筋より斷然廢止の御沙汰に接せしより、吾黨の勝利は勿論、公明なる眞の神の御惠みと、一同感謝を捧げ、又廓清會支部設

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

立な祝し、相互に會員姉妹に盡力せる結果の報告、凡そ八百名ありしとて只々神の御力と感謝の外なかりき。

▲新年祈禱會　一月十三日土曜午後二時より、東區高麗橋浪花教會新築室に於て開かる。司會者二宮夫人、讃美歌、聖書朗讀、祈禱の後、神戸矯風會々長渡邊姉を聘し、近く旅行せられし朝鮮にミスデビス孃と共に働かれし實況談を伺ひ、又本年の標語とも爲すべきは神の聲即ち天よりの呼聲を明かに聞き主キリストの命令に從ひ、働くべき事を述べられ。次に林會長は凡て吾等祈を信ずるものは特に「自覺」を以て働かればならぬ事を勸められ、司會者始め熱心なる姉妹方の祈禱ありて四時閉會す。本日出席者五十名。

尙、年と共に新なる新室に隔なき道の姉妹打集ひ、神の御前にひれふし祈る事の幸ひ、實にうれしく樂しかりき。

▲矯風會新入會員　天野とら子、武内鶴子、神尾よし子、東尾幸千代、田中みか子

●神戸支部

▲一月六日(第一土曜日)午後一時より神戸教會日曜學校講堂に於て、渡邊會長司會の下に新年親睦會を開く。當日午前細雨あり、午後如何にと只管祈りける甲斐ありて、正午頃より一天晴れ渡り 殊に暖かく 誠に 好都合なりき。

▲始めて讃美歌を唱ひ、聖書朗讀、祈禱の後、渡邊會長開會の辭として昨年一年我矯風會を省るに實に恩惠豁にして、七月京都に於て盛なる大會を開き、朝鮮に於ては支部を設くるを得。娼妓運動、廓清會起り、又我神戸支部に於ても婦人ホーム(女子家庭塾)の設立を建會に於て決議し、愈本年よりは是が實行に取懸らんとしつゝある等誠に感謝すべき年なりき。本年は夫れ等計畫されたる事業の發展完成を期する爲め、大に奬勵努力すべき年なりと思ふ。一年の計は元旦にありと、今や新年々頭に於いて會員各自が、一大覺悟を以て其計畫されたる事業に向て著しく其實蹟を擧げ得る樣奮勵努力されんとを希望すと、述べられ、次に林大阪教會頭、吾人の生涯は恰ら歷史のページに習字をなしつゝあるもの如し。昨年も三百六十五枚の習字を終へ、本年も最早六枚目を書きつゝあるなり。是迄のものに書き損はなかりしか、無駄書はなかりしか、又將來は如何に爲すべきかに考へ至る時は、實に恐懼すべきなり。されど、私共クリスチャンは、幸なる哉、我はクリストてふ最良の手本を與へられたればなり。只一點、一劃も迄はざる樣クリストの手本に向つて、習字をなさば無駄書の恐なく損書の憂なし。扨てさて社會を見渡すに、始め慈善事業の如きは、信者の專有物、信者の誘導を待ちてなりしものなるが、今や然らず。現に大阪に於ても、警官の發起により、德風、愛隣の二學校を設け、貧民子弟に教育を授くることゝなり。其教科書筆紙墨は勿論清き衣服をも與へ、入浴、理髮迄も一切寄附によりてなり。校長教師は篤志の學校教員之を擔當し、實に完備したるを見る。從來貧民などは警官といへば鬼か蛇の如く恐れしものなるに、之が施設ありてよりは、親兄弟の如く馴れ親しく、喜びあまりて感泣するものさへありとの事なり。如斯社會はもはや信者の指導を待たずして立派に慈善の事業をなすに至れり。我等信者たるもの、今一段の進步をなし、キリストに習ひ、神より出づる愛を以て、常に彼等の先驅者たらざる可らずとの奬勵あり。

▲最後に神戸教會牧師來澤先生は余は、元日の夜不思議の夢を見たり、即ち初夢なり、其は婦人と蛇との戰鬪にして、其婦人は白髮束後鉢卷てふ出立ち蛇は鎌首を持ち上げ炎の舌を出し、何れも負けず劣らず全力を盡して戰ひ居りたり、醒めて後これ果して何の夢ぞや現今の婦人問題に何の關係もあらざるか、之れが判斷をなさんが爲め聖書を繙きたるに、恰度の處が見出せり、即默示錄十二章なりとて之を引照し面白く有益に教へられ愛姉等も僕に於て、矯風の事業をなさんとする時、龍が天の星三分一を引き連れ來りし如く、尙惡魔にも多くの味方ありて種々なる方法を以て之を阻害せんとす故に神の武具を裝ひて奮鬪せざる可らず。又默示錄の婦人が野に於て、神に養はれたる如く、教會を休息所とし、修養所とし、此處にて元氣を養ひ、又出て、戰はざる可らず、とて多大の教訓を與へられたり。

▲斯くて餘興に移り、茶菓を喫し、有志會令孃の高尙優美なる琴曲の合奏あり、愉快に談笑の内に交情を溫め一名の入會者五名の婦人新報購讀者を得、川本老姉の祈禱を以て四時過

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

閉會、一同新らしき希望と勇氣悦樂を持ちて散ずる事を得たり、會するもの六十餘名、會有志の者殘りて大阪支部會頭を擁し食を共にし全く終りを告げたるは六時頃なりき。

●芝支部

本年三月二日(土)午後二時より、小妹宅に於て例會を催し、井深姉司會の許に讚美、聖書朗讀、祈禱を以て開會。司會者は、「幸福の源を神に求め度ものなり」との趣にて感話せられ。鵜飼姉は「我が子の危險に迫る時は胸に止め得ざるを實驗したれば、之と同じく人の靈性の危險に陥るを見ば、何事を置きても之を助けざるべからず」との意を說かれ。石川、荒木兩姉は何れも禁酒の必要につき實驗談を述べらる。小妹はプラオン夫人の忍耐談に就き感ずる所あり、頃日接する人每に禁煙を勸め居る事を述ぶ、次で井深姉は再びプラオン夫人の若き時代より美しき性質を表示し居られたる事を語らる。二三姉の祈禱ありて後閉會す、當日は小妹祖母の紀念日なりしを以て特にこの日を撰び、手製の菓果を供し、愉快に散じたるは五時過なり、來會員二十七名頗る盛會にて感謝に堪へず。本部よりは高原書記も出席ありたり。(榎本とく子)

●靜岡支部

各自主義の爲め奮闘しつゝあり、去夏京都にて開かれし大會の際、廓清會の起りし所以を聞きて、異身同體たる我會員は、同會發展のため盡せとの旨を受けて歸られし代表員城姉の報告により、曩に雜誌廓清の購讀者を募りしに十數名を得、殊に十月に至り安部先生の御來援ありて一方當地遊廓蓬萊樓の高塔は、如何にも目障りとなり、青年の風紀上又市の體面上駐數事とて、城姉は其筋へ數回交涉し、進んでは來る秋に開かるゝ縣會に建議し、知事、警察署長等を訪問せんと、內々準備中の處、茲に穩かなる手段の下に塔は取除けられ、我等の宿志は平和の中に達したり。

二月の例會は十一日午後一時半より、英和女學校に於て開く。當日は敎育課の働とて課長池田姉勸話を述べられ、次に新任校長ミス、デンパレック女史は、「家庭と敎育」と題し、母親に注意を與へられ、有益の講話を受けたり。來會員十九名、城姉の祈禱を以て閉會、茶菓の中に談笑四時散ず。

三月九日午後一時より、追手町敎會階上に於て開く、山家姉司會、初めに今回は風俗課の主催なる事を介し石井國一氏「婦人に對する要求」と云へる題の下に實例を擧げ、言々句々主婦に對し大なる注意を與へられたり、今日の虛氣の氣滿々たるの時、男子よりの要求の邪道にあるかを窺知するを得、各自の家庭に一の警醒を與へられし。次に松島前代議士「婦人の地位を論じ、廓清會の事業に及ぶ」てふ題の下に社會の根底より改造せざる可らず、そはキリスト敎によらざれば道なし、又婦人も各自個人の地位を高めざるべからずと親切なる注意を與へられたり。茶菓を喫し、城姉の感想二三を述べ、同姉の祈禱を以て閉會四時、集會者二十三名。入會員前田幸子姉。

昨冬松島、城二姉の手によりて編製されし家庭會計簿百八十四冊賣捌き收益十五圓餘を得たり。主よ地上にみ國を臨らす爲め御名によりて働かしめ玉へ。智惠と力を仰ぎ奉る。

(城のぶ子)

●金澤支部

▲客臘十二月初旬の頃、檢事長手塚氏名古屋控訴院より官用を帶びて當地へ參られました。同氏は久しく獨逸其の他歐州各國に在留中、彼の地の禁酒事業を取り調べられ、爾後熱心に禁酒論を唱導し、若し現社會より飮酒の惡習を取り去るを得ば犯罪者を半減し得るとまで確信し居らるゝ程の、實に有力なる吾黨の論者否な實行者であります。來澤せられしを幸い、第四高等學校及び縣立諸學校の上級生徒に對して、或は歐米最近の取調に係る統計上より、或は學術上より飮酒の弊害に就て、又當時歐米に席捲の勢を以て行はれつゝある禁酒事業に就て演說せられ、學生間に多大の感動を與へられました。同氏の如き四五の有力なる應援者興る日に吾黨の主義が如何に長足の發展を爲し、日本現社會を大に濟め得る事であらうと思ふ。(在金澤水重草子報)

▲明治四十五年二月十二日午後三時より、北陸女學校青年婦風會と合し、當校講堂に於て、支部長水重あや子姉司會の下に祈禱、聖書朗讀、開會の挨拶を以て開會す。第四高等學校敎授文學士、八波氏「人世の慰安者」と題し熱誠なる御話しありたり。其大略は、人間は高

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

偷なる文學即ち「聖書」を讀みて、神の性を現はす樣つとむべしと說かる。續きて女子青年有志者の妙なる音樂につれて五時閉會す。此日特に本會の主義を紹介せんがために英和幼稚園母の會の夫人方十數名招待いたし集ひし者百名計り、實に盛會なりき。（書記、內藤德）

●堺支部

二月二十四日（土）午後二時、殿馬場組合教會に於て、故ウキラード孃の追悼會を兼れ、緒方姉司會の下に例會を開く。當日は熱心なるキリスト信者にして且我婦人矯風會に多大の同情を寄せらるゝ堺分監長、小澤千代藏氏に一場の勸話を乞ふ。氏は先づ社會の改善を計るには必ず婦人の力を借らざる可らざる事を說き、次に矯風會員たる者は、宇宙萬物吾人の眼に觸るゝ凡ての物を己が師と仰ぎ、且之を教育の材料として、己れを修養するを怠らず、而して社會に活動し、他を導く樣勉め勵むべき事等、いと懇切に說かれたり。一同大に勵まされ、且つ敎へられ、喜びに滿ちて散會せり。來會者二十餘名。（永田とき子）

●山梨支部（青年部）

客年四月新たに役員を選定せし結果左の如し。會長成澤泰子、會計近藤つる子、記錄書記小川誠子、通信書記須田きよ子、花の課田中八十路、矢崎よしへ、安藤ふみ子、滿田たか子、中澤さく子、風俗課長谷川孝子。爾來每月第三水曜を期し、山梨英和女學校に於て開きたる例會は當月（三月）迄百二十回に達し、會長を始め役員等皆熱心に、主義の擴張をつとめ、本部諸姉とは所は異なるも、天父の前に皆一なる事を覺えて活動の步を進めつゝあり、昨年九月よりの概略を記載す。

九月二十日の例會には、會長が市內のある貧家に白米一斗を贈られし報告、花の課の病院訪問の報告あり、通信書記は、貧家よりの禮狀及び帝國軍人ホームよりの來狀を朗讀し、風俗課は、衣服を實業にす可との勸話をなす。辻、須田、安藤の諸姉は、休暇中に禁酒傳道の爲働かれし音信をなし、中澤姉は淺間の噴火に際し人生のはかなき事を述べ神の使命を一日も怠らず果し度と述べらる。十月十八日の例會には、須田姉、夏期休暇を利用し單身山陰道方面に旅行せられ神の力の大なりしと、各地矯風の必要を所感として述べられ會長は校內風俗紊亂に注意せられん事を諭さる。

十一月の例會に於て、會長は現今の社會風俗殊更に道德の腐敗を適切なる實例を以て說かれ、此に對する責任者は矯風會員にある事を訓へらる。此の時校內の生徒振つて入會せられたり、其數二十七名。

十二月の例會には小野牧師の特別演說あり「婦人の自覺」に就き熱心に語られ、一同いたく感じたり。終りに聖歌を合唱し、小野牧師の祝禱を以て閉會す。本年度クリスマスの祝賀に際し、孤兒院及貧民且つ本會々員にして神の榮の爲めに働かるゝも父君を失ひしため家計困難なる姉妹の一人に贈物をなせり。（須田きよ子）

●シヤトル矯風會

明治四十四年十月四日午後二時半、美以教會の新らしき婦人ホームにて例會を開く。會頭ミス、フハイフ司會せられ、聖書朗讀祈禱の後、右手、天野、兩姉の合唱あり、書記會計の報告終りて、司會者は當日の辯士吉岡牧師を紹介せらる。一部終りて二部に移り、茶菓の饗應あり、五時閉會す。會集二十餘名、小供十數名當日の新入會員二名。

役員會にて、目下加州地方に居らるゝ代議士島田三郎君招待のことを議し可決す。

十一月八日（水）午後二時半、ミス、フハイフ婦人ホームにて例會を開き、併せて島田三郎氏及び、領事、高橋夫人の歡迎會を爲す。會頭司會、右手姉聖書朗讀、限井夫人祈禱、副會頭歡迎の辭、領事夫人答禮、島田氏の挨拶にて一先づ會を閉ぢ、コーヒー、菓子の饗走の外、小女組の歌、岡崎令息の獨唱等ありて、四時半會を終ゐ。會集約五十名、其他小供二十餘名。

同月十日夜、日本館ホールを借受け、島田氏の演說を乞ふ。兒童教育より矯風問題に及び、二時間に渡る演說あり。聽衆約一千名。當日切符賣上げ高の內實費を差引き、同氏に百弗を呈す。

十二月六日（水）午後二時半、組合教會にて會頭ミスフハイフの司會の許に、岡崎牧師の演說あり。會集十八名、小供八名。茶菓を喫して明年度の運動を議す。

母の會を復興すること。

其方法は課長、高橋夫人と會頭とに一任する事。

當日は華州矯風會會頭も、ミセスプラット

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を聯してミルウオーキー大會の話をきく機會ありしも果さず。

年末に押し迫り、クリスマスの數日前に、ステルカムなる風顚病院へ贈物を致しては如何との議起り、諸教會、有志者間を募集し、五十弗計を得、内約四十弗を同病院へ十弗を當市内二ツの病院に目下入院中なる同胞患者に宛てクリスマスプレセントとして贈りぬ。

（限井玉子）

◎婦人新報代金領收

金壹圓（四十四年度）　山川　常子
金七十錢（四十五年度）　中島とめ子
金一圓九十二錢（四十四年度）　大島　雪子
金七十錢（四十四年度）　菅野かす子
金七圓四十錢（四十四年度）

サクラメント　吉　田　姉

金七十錢（四十四年度）　高山　芳子
金壹圓五錢（四四、四五年度）　波江野ちか子
金八圓八錢（四四年後半）　宮崎しな子
金一圓五錢（四四年度）

オークランド　基督敎婦人會

▲▲▲▲前號正誤●●●　和歌山支部　三圓三十錢領收とあるは堺支部の誤り、謹しんで訂正仕候。

◎廓清會通信

△群馬支部發會式

群馬縣は全國に於ける唯一の廢娼縣にして、從つて非公娼主義の盛んなるは世間一般に認めらるゝ所である。昨夏我か廓清會の組織發表せらるゝや、同縣に於ける有志者間には當時直に支部組織につき相談があつた位で、多年同志活動の中堅となりて非公娼主義の發展に盡瘁し來りたる群馬青年會は更に多年提携してこの問題に盡力せる前橋婦人矯風會と熱議し、共に支部組織を發企する事となり、愈々一月十三日午前十一時、前橋市柳町臨江閣に於て支部發會式を擧行するに至つたのである。

來會者は前橋、高崎、安中、原市、甘樂、渋川、神川、伊勢崎。境其他の各地方代表者五十餘名にして、本部よりは理事内ヶ崎文學士、常務理事益富政助、萬國廢娼同盟會英國支部幹事モーリス、グレゴリーの三氏出席し、定刻に至り、發企代表者總江亥之助氏は徐に起つて支部設置の趣旨及經過を述べ「我群馬縣が萬國唯一の廢娼縣たるは、實に愉快にして且つ名譽とする所である。而して此の非公娼の主義精神は單に我一縣に止めずして、全國に向つて發揮普及すべきは吾徒多年の希望であつた。然るに昨年七月恰も中央に於て先覺諸氏によつて廓清會の組織を見るに至つたのは、吾儕の希望を達したものといふべく、之と氣脈を通じ大に盡すあらんとするの決心を以て、群馬支部の設置をなさんと欲し本部とも交渉を重ね、幸に今日の發會を見るに及んだ」云々。

議決した支部規則及選擧した委員長、常任委員、委員は左の通りである。

廓清會群馬支部規則

第一條　本支部は廓清會規則第二條により設置するものにして、廓清會群馬支部と稱す。

第二條　本支部は群馬縣在住會員を以て組織す。

第三條　本支部委員若干名を置き、委員の互選によりて委員長及常務委員を置く。

但任期はすべて一ヶ年とす。

第四條　委員は庶務會計記錄通信を掌る。

第五條　本支部は每年春總會を開く、但必要の場合は臨時總會を開く事あるべし。

第六條　本支部の經費は寄附金による。

委員長

總江亥之助（前　橋）

常務委員

高橋駒次郎（同　）　田村作太郎（前橋）
松宮　彌平（同　）

委　員

阿部仙太郎（前　橋）　ベツトレー（前橋）
野口　せい（同　）　柴田　とよ（同　）
熊谷　せつ（同　）　中村清次郎（安中）
柏木　かや（安　中）　中田兵次郎（原市）
長谷清一郎（伊勢崎）　太田　すて（原市）
大澤　虎雄（伊勢崎）　森村　晃太（同　）
佐谷　天來（同　）　正田虎四郎（境　）
大越　鉉吉（高　崎）　松田　榮治（高崎）
星野　きよ（同　）　岡野　なを（同　）
齋藤　壽雄（富　岡）　中島佐久間（富岡）
山田　しん（同　）　金澤　なほ（同　）
桑島　定助（勢　多）　宮崎右太郎（多野）
千木良芳郎（多　野）　栗原　德治（同　）
大戶　きし（同　）　高橋松太郎（同　）
大和重太郎（名　和）　森川　抱次（名和）
荒　清記（桐　生）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊

不良少年

▲床次内務次官序
▲平沼司法次官序
▲法學博士井上友一序
▲法學博士小河滋次郎序
▲モリソン原著
▲小highlighted高恒譯

洋裝美本
定價九十錢
郵稅八錢

聖戰（再版）

ジョンバンヤン作
松本雲舟譯

好評嘖々！

▲定價壹圓十錢
▲送料十二錢

命の洗濯

關寛著

▲林董伯題詞
▲故文學博士小杉氏序
▲笹倉新造君序
▲故三宅舞村氏跋
▲醫學博士二木謙三序
▲德富健次郎君跋
▲松村介石君序
▲野津秋村君跋

定價六十錢
郵稅六錢

北海道の山中に妙な爺さんが居る○今年八十三○佐藤門のちやき〳〵で、おとなしくして居れば今頃は軍醫總監男爵ははづれぬ所を、少々つむじまがりて、名利を避け、田舍醫者となつて陰に仁術を施す三十餘年○婆さんと金婚式まで祝ひ、立派に樂隱居で過ごせる所を、七十越して北海道の無人境に牧畜を始め、傍ら施療をやつて附近のアイヌに神の如く崇められて居る○牛馬を殖やして片手に毛だらけの手の脈をとつてゐへ居ればよさゝうなものを、爺さん御若勢にも濟世の志篤く世を憂へ人を愛するのあまり時に筆をとつては世間に對して惡まれ口をきゝ、山の中から東京に飛び出して來ては在朝在野の若い者共と盛に議論を上下する○此爺さん約六十年來の冷水浴實行者で、今も矍鑠たる元氣壯者を凌ぐは、斯冷水浴のお蔭だと謂つて居る○本書『命の洗濯』は其爺さんが折にふれて筆をとつた冷水浴奬勵の『命の洗濯』を首とし、股引草鞋で深山幽谷を跋涉した『旅行日記』奢侈文弱を叱咤して力行勤儉を鼓吹した『めざまし草』無人境の開拓創業の苦中樂を記して小說の樣な『牧場創業記事』心の底から吐き出した和歌を集めた『斗滿漫吟』を合して一冊としたものである○此卷を讀んで八十年の錬磨修養を經來つた斯獨立不羈にして徹頭徹尾眞面目なる一人格がたま〳〵吐き出した其氣息に觸るゝ者は北海道の深林に湛ふるオゾーンの氣を吸ふ感があらう○

發兌 東京京橋銀座通 振替東京五五三 警醒社書店

同支店 本郷春木町通

明治四十五年三月二十五日發行